

## 平成26年度「全国学力・学習状況調査」結果（市の概要）について

教育委員会学校教育課

平成26年度の本市の結果は、以下のとおりです。本調査結果は、学力の特定の一部であることを踏まえてご覧ください。

### 1 調査の概要

#### (1) 調査の目的

- ア 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- イ 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ウ そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

#### (2) 調査の実施学年・実施学校数・実施児童生徒数

| 学校種 | 実施学年 | 実施学校数 |       |         | 実施児童生徒数 |          |             |
|-----|------|-------|-------|---------|---------|----------|-------------|
|     |      | 本市    | 県(公立) | 全国(公立)  | 本市      | 県(公立)    | 全国(公立)      |
| 小学校 | 6年生  | 78校   | 522校  | 20,177校 | 約5,350人 | 約14,800人 | 約1,080,000人 |
| 中学校 | 3年生  | 39校   | 225校  | 9,742校  | 約4,980人 | 約14,200人 | 約1,018,000人 |

#### (3) 調査の内容

- ア 教科に関する調査
  - 国語、算数・数学における
    - A 主として「知識」に関する問題
    - B 主として「活用」に関する問題
- イ 質問紙調査
  - 生活習慣や学習環境等に関する調査

#### (4) 調査日

平成26年4月22日(火)

### 2 教科の区分（A「知識」とB「活用」）に関する調査結果

(平均正答率・・・児童生徒の正答数の平均を設問数で割った値の百分率)

#### (1) 小学校（調査対象：6年生）の平均正答率（%）

| 教科 | 国語    |       | 算数    |       |
|----|-------|-------|-------|-------|
|    | A「知識」 | B「活用」 | A「知識」 | B「活用」 |
| 本市 | 74.7  | 58.3  | 80.5  | 58.3  |
| 県  | 72.5  | 55.2  | 78.5  | 55.3  |
| 全国 | 72.9  | 55.5  | 78.1  | 58.2  |

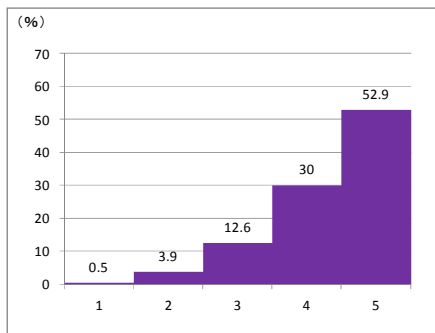
#### (2) 中学校（調査対象：3年生）の平均正答率（%）

| 教科 | 国語    |       | 数学    |       |
|----|-------|-------|-------|-------|
|    | A「知識」 | B「活用」 | A「知識」 | B「活用」 |
| 本市 | 80.1  | 52.1  | 68.3  | 60.6  |
| 県  | 78.1  | 49.1  | 65.5  | 58.4  |
| 全国 | 79.4  | 51.0  | 67.4  | 59.8  |

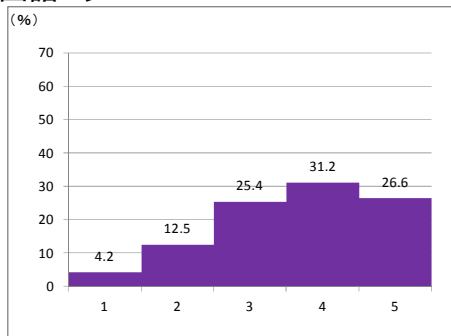
3 本市の平均正答率別（5段階）の児童生徒数割合グラフ

【小学校】

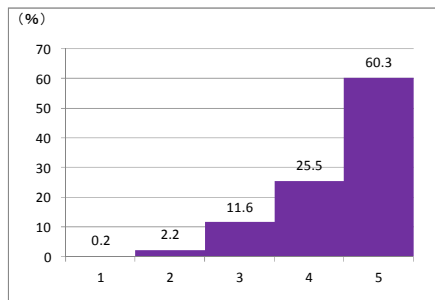
〔国語A〕



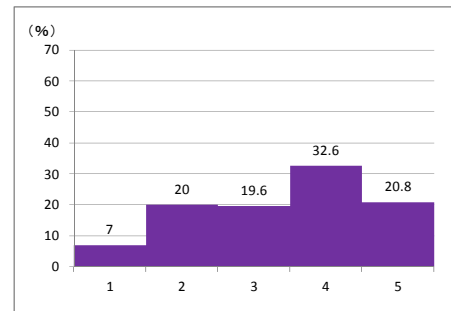
〔国語B〕



〔算数A〕

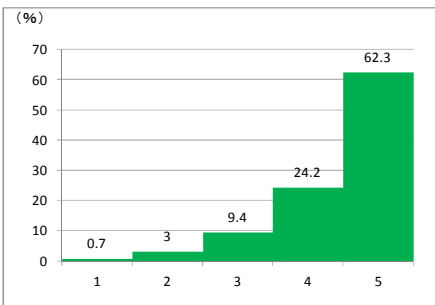


〔算数B〕

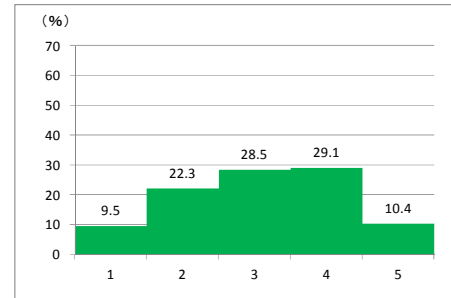


【中学校】

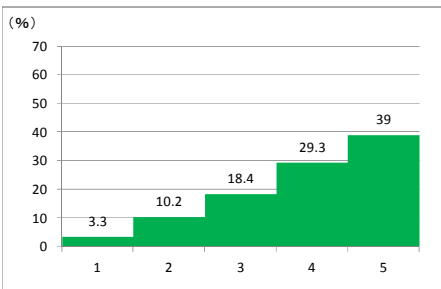
〔国語A〕



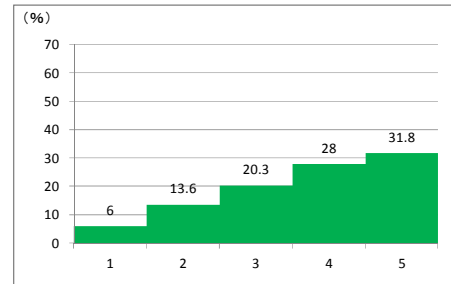
〔国語B〕



〔数学A〕



〔数学B〕



※ 1… 0～20%未満  
4… 60～80%未満

2… 20～40%未満  
5… 80～100%

3… 40～60%未満

平成 26 年度 全国学力・学習状況調査（国語）  
 ～調査結果から見える本市国語科教育の課題について～

学校教育課

1 国語科の調査結果

小学校においては、A・B問題ともに、全国平均をやや上回っている。  
 中学校においては、A問題は、全国平均とほぼ同じ、B問題は、全国平均をやや上回っている。  
 「読むこと」はA問題が、全国正答率を二年連続で下回る結果となった。  
 平成二十五年度と比較すると、小・中学校のB問題は、いずれも一ポイント以上、上回った。特に、記述式問題の正答率が、伸びてきている。

| 項     | 小学校  |      | 中学校  |      |
|-------|------|------|------|------|
|       | A    | B    | A    | B    |
| 本市正答率 | 74.7 | 58.3 | 80.1 | 52.1 |
| 全国正答率 | 72.9 | 55.5 | 79.4 | 51.0 |
| 全国比   | +1.8 | +2.8 | +0.7 | +1.1 |

【国語の平均正答率（%）】

2 本市国語科の課題

・ 目的に応じて資料を読み、複数の内容を、関係付けて書いたり、比較して情報を読み取ったりすることに課題がある。  
 ・ 文章全体と部分との関係を読み取ったり、文章の展開や図と文章の関係を読み取るなど、関係を読み取ることに課題がある。

【全国との比較】

<小学校>

- ・ 故事成語（百聞は一見に如かず）の意味と使い方を理解する。 A 2 二【▲3.2】
- ・ 質問の意図を捉える。 B 1 二【▲2.8】
- ・ 目的に応じて、話し合いの観点を整理する。 B 1 一【▲1.7】
- \*二つの詩を比べて読み、自分の考えを書く。 B 3 三【+8.4(記述)】

<中学校>

- ・ 抽象的な概念を表す語句が示すものについて理解する。 A 5 一【▲3.6】
- ・ 語句の意味（急がば回れ）を理解し、文脈の中で適切に使う。 A 8 三【▲3.4】
- ・ 文章全体と部分との関係を考え、内容を理解する。 5 二【▲2.9】
- ・ 複数の資料から必要な情報を読み取る。 B 2 二【▲4.1】
- \*文章の構成や表現の仕方などについて、根拠を明確にして自分の考えを書く。 B 1 三【+5.4(記述)】

3 課題を示す特徴的な問題

小学校 A 2 二  
 故事成語（百聞は一見に如かず）の意味と使い方を理解する問題

[本市正答率]  
 46.7%  
 (全国比▲3.2)  
 故事成語の意味や使い方を理解し、実生活の中で用いることに課題

2

次の一と二の故事成語の使い方として最もふさわしいものを、1から3までのの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

二「百聞は一見に如かず」

- 1 友達の野村さんは、先生の説明のはじめの部分を聞くと、結論まで見通すことができるという。百聞は一見に如かずということができた人だ。
- 2 私は、夕日が美しいことで有名な海岸を訪れ、その美しさを自分の目で見て実感することができた。まさに百聞は一見に如かずだ。
- 3 私は、人からいろいろと細かく注意されることがいやだ。しかし、友達に百聞は一見に如かずだと助言されたので、そのことをよく考えてみようと思う。

中学校 A 5 一  
 抽象的な概念を表す語句が示すものについて理解しているかどうかをみる問題

[本市正答率]  
 74.6%  
 (全国比▲3.6)  
 抽象的な語句を、文脈に即して具体的な内容と対応させながら読むことに課題

一 一 動物が外界のものを認識するしくみとありますが、本文中に示されている「動物」(ア)と「外界のもの」(イ)との組み合わせとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- |             |                |
|-------------|----------------|
| 1 (ア) ガマガエル | (イ) ヘビ         |
| 2 (ア) ガマガエル | (イ) エーヴェルト     |
| 3 (ア) ヘビ    | (イ) 塩化ビニールのパイプ |
| 4 (ア) ヘビ    | (イ) ガマガエル      |

複数の資料から必要な情報を読み取る問題

2 次の「接着剤について書かれた『本の一語』と『インターネットの情報の一語』です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【本の一語】

いろいろな物をくっつけることができる接着剤。物を組み立てるときや壊れた物を直すときなどに、とても便利なものです。なぜ接着剤は物と物とをくっつけることができるのでしょうか。物をくっつける仕組みはいろいろありますが、ここでは代表的な仕組みで考えてみましょう。

接着する物の表面を

顕微鏡で見ると、

つるつるしているよう

に見える金属でも、そ

の表面には肉眼では見

えない凹凸があること

が分かります。そこに

接着剤を塗ると、凹凸

のすき間に接着剤が入り込みます。そして、すき間に入った接着剤が固まることで物がくっつきます。これをアンカー効果と



2 次の疑問点のうち「本の一語」や「インターネットの情報の一語」を使って、答えが得られるものはどれですか。次の1から

5までのうち、適切なものを二つ選びなさい。

1 ガラスとゴムを接着するとき、どのようなときに気を付けたらよいか。

2 アップリケをくっつけるとき、アイロンは何度にすればよいか。

3 人工の歯をつける接着剤と血管をつなぎ合わせる接着剤の違いは何か。

4 飛行機を組み立てるときに接着剤を使うと、どのような利点があるか。

5 瞬間接着剤が非常に速いスピードで物を接着することができるのはなぜか。

【本市正答率】  
56.8%

（全国比▲4.1）  
目的に応じて複数の資料から必要な情報を読み取ることに課題

4 児童・生徒質問紙との関連

小・中学校いずれにおいても、「目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたり」する活動や、「うまく伝わるように話の組み立てを工夫」する活動について、一定の改善は見られて

いるが、依然十分であると言えない。このことは学力調査の結果と相関が見られるため、一層の改善が必要である。

5 授業改善のポイント

(1) 小中共通

- ・ 身に付けた力力の明確化と具体的な子どもの姿（表現）をイメージした授業構想

(2)

- ・ 実生活の様々な場面を踏まえた言語活動を、単元を貫く形で位置付ける授業の実践

- ・ 故事成語等と実生活を関連付けた指導の工夫や、5・6年での反復学習の機会の位置付け

(3) 中学校

- ・ 文章全体の内容を押さえたり、論の展開を追ったりしながら文中の語句の意味を捉える学習の工夫
- ・ 目的に応じて、複数の本や文章から重要な部分を抜き書きするなど、効果的に必要な情報を読み取る学習の設定

| 質問事項<br>(数値は「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」の値)        | 小学校            |                | 中学校            |                |
|---|----------------|----------------|----------------|----------------|
|   | 本市             | 全国比            | 本市             | 全国比            |
| 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。    | 61.3<br>(56.2) | ▲0.1<br>(▲1.1) | 53.8<br>(48.4) | ▲2.3<br>(▲3.8) |
| 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか。 | 55.8<br>(54.2) | ▲2.7<br>(▲3.1) | 44.6<br>(41.5) | ▲4.5<br>(▲5.6) |

【児童生徒質問紙の結果 (%) \* ( )内はH25年度】

# 平成26年度 全国学力・学習状況調査（算数・数学） ～調査の結果から見える本市算数・数学科教育の課題について～

## 1 算数・数学科の調査結果

小学校においては、A問題は、全国の平均正答率をやや上回っている。B問題は、全国平均とほぼ同じ状況で、「数量関係」領域が全国よりやや下回った。

中学校においては、A・B問題ともに、全国の平均正答率とほぼ同じであった。B問題は、正答率が60%を超えたが、「図形」領域が全国よりやや下回った。

平成25年度と比較すると、小学校のA・B問題、中学校のB問題で、全国平均との差が小さくなってきている。

| 項     | 算数   |      | 数学   |      |
|-------|------|------|------|------|
|       | A    | B    | A    | B    |
| 本市正答率 | 80.5 | 58.3 | 68.3 | 60.6 |
| 全国正答率 | 78.1 | 58.2 | 67.4 | 59.8 |
| 全国比   | +2.4 | +0.1 | +0.9 | +0.8 |

## 2 本市算数・数学科の課題

- 示された情報・事象を数学的に解釈し、問題を解決するための見通しをもち、数学的な表現を用いて、筋道立てて考えたり説明したりすることに課題がある。
- 図・式・表・グラフ等を観察して数量の関係を捉え、関連付けて考察すること、図形等の性質を証明したり、見いだした性質を活用したりすることに課題がある。

| 【全国との比較】  |  |
|-----------|--|
| 小学校<br>算数 | <ul style="list-style-type: none"> <li>全体と部分の関係を示すために用いるグラフを選択する。 B 2 (3) 【▲ 7.9】</li> <li>示された図を基に、比較量を求める式を選択する。 A 2 (2) 【▲ 3.0】</li> <li>数量を相対的に捉え、その関係を表している図を選択する。 B 3 (2) 【▲ 2.5】</li> <li>* 作図に用いられている図形の約束や性質を理解している。 A 6 【+ 6.3】</li> </ul> |
| 中学校<br>数学 | <ul style="list-style-type: none"> <li>証明で用いられている三角形の合同条件を選ぶ。 A 7 【▲ 2.6】</li> <li>簡単な連立二元一次方程式を解く。 A 3 (4) 【▲ 2.3】</li> <li>図形の性質を、構想立てて証明する。 B 4 (1) 【▲ 1.7】</li> <li>* 与えられた説明の筋道を読み取り、式を変形する。 B 2 (1) 【+ 5.9】</li> </ul>                         |

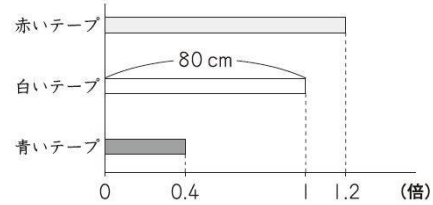
## 3 課題を示す特徴的な問題

### 【小学校6年A 2 (2)】

示された図を基に、割合が1より小さい場合の比較量を求める式を選択する問題

## A 2

下の図のように、白いテープの長さをもとにして、赤いテープと青いテープの長さを表しました。



(2) 青いテープの長さを求める式を、下の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1  $180 + 0.6$     2  $80 - 0.6$     3  $80 \times 0.4$     4  $80 \div 0.4$

【本市正答率】 51.1% [全国比▲3.0%]

2の減法の場合と混同している児童が20.5%おり、全国より5.0%高かった。割合が1より小さい場合でも、(基準量)×(割合)で求められることを理解するのに課題がある。

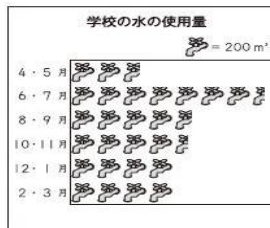
### 【小学校6年B 2 (3)】

2か月分の水の使用量が、年間の使用量と比べて1/4より多いことを説明するために用いるグラフを選ぶ問題

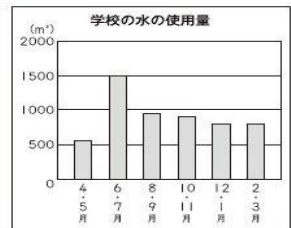
## B 2

(3) あきらさんは、6・7月の水の使用量が1年間の水の使用量の $\frac{1}{4}$ より多いことを説明します。下の 1 から 4 までのどのグラフを使うと最もわかりやすいですか。1つ選んで、その番号を書きましょう。

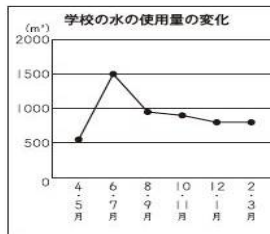
### 1 絵グラフ



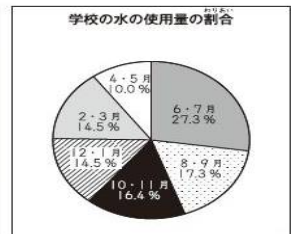
### 2 棒グラフ



### 3 折れ線グラフ



### 4 円グラフ



【本市正答率】 53.6% [全国比▲7.9%]

2が29.7%で全国より6.6%高く、最も多く使用している月が分かる棒グラフを誤って選択している。全体と部分の関係を示すのに適した円グラフを選択することに課題がある。

【中学校3年A3(4)】

簡単な連立二元一次方程式を解く問題

A3

(4) 連立方程式  $\begin{cases} y = 3x - 2 \\ y = 2x + 3 \end{cases}$  を解きなさい。

【本市正答率】 64.9% [全国比▲2.3%]

H22A3(3)[全国比▲2.0%]、H24A3(2)[全国比▲0.9%]と下回っていた。簡単な連立二元一次方程式を解くことに依然として課題がある。

【中学校3年A7】

証明で用いられている三角形の合同条件を選ぶ問題

A7

「平行四辺形の対角線はそれぞれの中点で交わる」ことを、次のように証明しました。

証明

平行四辺形ABCDの対角線の交点をOとする。  
△ABOと△CDOにおいて、  
平行四辺形の向かい合う辺はそれぞれ等しいから、

$AB = CD \dots ①$

AB // DCより、平行線の錯角は等しいから、

$\angle ABO = \angle CDO \dots ②$

$\angle BAO = \angle DCO \dots ③$

①、②、③より、 から、

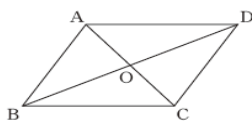
$\triangle ABO \cong \triangle CDO$

合同な図形の対応する辺は等しいから、

$OA = OC$

$OB = OD$

よって、平行四辺形の対角線はそれぞれの中点で交わる。



上の証明の  に当てはまる合同条件を、下のAからEまでの中から1つ選びなさい。

- A 3組の辺がそれぞれ等しい
- I 2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい
- ウ 1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい
- E 直角三角形の斜辺と他の1辺がそれぞれ等しい

【本市正答率】 70.5% [全国比▲2.6%]

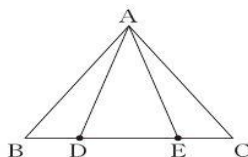
昨年は、A7(1)[全国比▲2.0%]であった。誤答[2辺挟角]が14.7%であるなど、証明でどの合同条件が用いられているかを正しく読み取ることに依然として課題がある。

【中学校3年B4(1)】

図形の性質を、構想を立てて証明する問題

B4

下の図のように、 $AB = AC$ の二等辺三角形ABCの辺BC上に $BD = CE$ となる点D、点Eをそれぞれとります。



(1)  $AD = AE$ となることを証明しなさい。

【本市正答率】 37.7% [全国比▲1.7%]

誤答[筋道が正しくない]23.7%、無解答23.5%であった。三角形の合同条件に着目し、筋道立てて証明することに課題がある。

4 児童・生徒質問紙との関連

【児童・生徒質問紙の結果(%)】

(64) 授業の内容はよく分かるか。

(74) 調査問題(B問題)の解答時間は余るほど十分だったか。

|    | 番号   | 本市   | 全国   | 全国比  |
|----|------|------|------|------|
| 算数 | (64) | 49.9 | 44.7 | +5.2 |
|    | (74) | 44.4 | 47.3 | ▲2.9 |
| 数学 | (64) | 32.5 | 33.0 | ▲0.5 |
|    | (74) | 35.9 | 44.6 | ▲8.7 |

(本市児童・生徒の「当てはまる」割合)

(64)「授業内容の理解」について、小・中学校ともに、昨年よりも2ポイント以上下がっている。また、(74)「B問題の解答時間」について、小・中学校ともに、全国と比べ時間が足りないと感じている子どもの割合が高い。

毎時間の学習内容の定着状況の確認、時間を区切って速く正確に問題を解く活動を意図的に設定するなど配慮していかなければならない。

5 授業改善のポイント

(1) 算数・数学共通

- 問題解決的な学習を単元に位置付ける。特に、見通しをもち、既習事項を基に自力解決し、適切かどうか振り返るといった一連の活動を重視する。
- 自分で考えたことを、根拠を明確にして筋道立てて書いたり説明したりする活動を一単位時間に位置付ける。

(2) 算数

- 式や計算の結果の意味を、数直線などの図や表と関連付けて考えさせ、相互もしくは全体場で説明できるように指導する。
- グラフに表す目的とそれぞれのグラフの特徴を明確にし、日常的な数量を実際にグラフに表すとき、どれを選択すればよいか話し合わせる学習を展開する。

(3) 数学

- 連立二元一次方程式は、毎年のように形を変えて出題されている。加減法、代入法、どちらの方法でも解けるように指導の徹底を図る。
- 結論を導くために、合同条件の何が分かっている、後何が分かればよいかを明確にするなど、「方針を立てた上での証明」に取り組ませるようにする。

# 平成26年度 全国学力・学習状況調査結果分析

## 【児童生徒に対する質問紙調査結果〈抜粋〉】

1 将来の夢や目標を持っていますか。

|     | 平成26年度           |      |      | 平成25年度 |      |      |      |
|-----|------------------|------|------|--------|------|------|------|
|     | 本市               | 本県   | 全国   | 本市     | 本県   | 全国   |      |
| 小学校 | ①当てはまる           | 75.9 | 75.4 | 70.7   | 77.3 | 77.8 | 72.2 |
|     | ②どちらかといえば当てはまる   | 13.3 | 13.4 | 16.0   | 12.8 | 12.6 | 15.6 |
|     | ③どちらかといえば当てはまらない | 5.8  | 6.3  | 7.6    | 6.0  | 5.3  | 7.0  |
|     | ④当てはまらない         | 4.8  | 4.8  | 5.5    | 3.9  | 4.2  | 5.1  |
| 中学校 | ①当てはまる           | 48.2 | 49.2 | 46.0   | 51.8 | 51.4 | 47.4 |
|     | ②どちらかといえば当てはまる   | 24.3 | 23.9 | 25.4   | 23.9 | 23.7 | 26.1 |
|     | ③どちらかといえば当てはまらない | 17.3 | 16.8 | 17.7   | 16.0 | 16.3 | 17.0 |
|     | ④当てはまらない         | 10.1 | 9.8  | 10.6   | 8.2  | 8.6  | 9.4  |

夢や目標を持っていると答えた児童生徒の割合は、全国よりやや高いが、25年と比べて低下している。

2 自分には、よいところがあると思いますか。

|     | 平成26年度           |      |      | 平成25年度 |      |      |      |
|-----|------------------|------|------|--------|------|------|------|
|     | 本市               | 本県   | 全国   | 本市     | 本県   | 全国   |      |
| 小学校 | ①当てはまる           | 37.0 | 34.4 | 35.0   | 38.4 | 37.0 | 34.5 |
|     | ②どちらかといえば当てはまる   | 41.0 | 40.3 | 41.1   | 40.7 | 40.4 | 41.2 |
|     | ③どちらかといえば当てはまらない | 15.1 | 17.6 | 16.7   | 14.9 | 15.5 | 16.9 |
|     | ④当てはまらない         | 6.7  | 7.6  | 7.0    | 6.0  | 7.0  | 7.3  |
| 中学校 | ①当てはまる           | 23.9 | 24.1 | 24.3   | 26.4 | 25.0 | 23.4 |
|     | ②どちらかといえば当てはまる   | 43.5 | 42.9 | 42.8   | 41.8 | 42.5 | 43.0 |
|     | ③どちらかといえば当てはまらない | 24.1 | 23.6 | 23.3   | 23.2 | 23.4 | 23.8 |
|     | ④当てはまらない         | 24.3 | 42.8 | 23.3   | 8.5  | 8.9  | 9.6  |

自分のよいところに気付いていると思う児童の割合は、全国より高いが、生徒の割合はやや低い。

3 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師含む)。

|     | 平成26年度         |      |      | 平成25年度 |      |      |      |
|-----|----------------|------|------|--------|------|------|------|
|     | 本市             | 本県   | 全国   | 本市     | 本県   | 全国   |      |
| 小学校 | ①3時間以上         | 12.2 | 8.1  | 11.2   | 14.0 | 9.7  | 11.9 |
|     | ②2時間以上3時間より少ない | 18.2 | 16.7 | 14.6   | 19.6 | 19.0 | 15.7 |
|     | ③1時間以上2時間より少ない | 40.8 | 43.7 | 36.2   | 40.1 | 43.4 | 35.9 |
|     | ④30分以上1時間より少ない | 19.2 | 20.8 | 25.2   | 18.5 | 19.5 | 24.3 |
|     | ⑤30分より少ない      | 6.5  | 7.2  | 9.5    | 4.7  | 5.4  | 9.0  |
|     | ⑥全くしない         | 3.1  | 3.4  | 3.2    | 2.9  | 3.0  | 3.1  |
| 中学校 | ①3時間以上         | 15.4 | 11.2 | 10.4   | 18.1 | 12.5 | 10.6 |
|     | ②2時間以上3時間より少ない | 34.0 | 28.9 | 24.7   | 35.7 | 31.4 | 26.0 |
|     | ③1時間以上2時間より少ない | 29.0 | 36.1 | 32.8   | 26.7 | 33.4 | 32.2 |
|     | ④30分以上1時間より少ない | 13.0 | 15.2 | 17.3   | 12.1 | 14.8 | 16.6 |
|     | ⑤30分より少ない      | 5.0  | 5.4  | 9.0    | 4.6  | 5.2  | 8.8  |
|     | ⑥全くしない         | 3.5  | 3.1  | 5.7    | 2.6  | 2.7  | 5.8  |

学校の授業以外に、1日あたり1時間以上勉強している本市の児童生徒の割合は、全国、県に比べ高い。学習時間が30分未満の児童生徒が25年に比べて増えている。

4 普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)。

|     | 平成26年度               |      |      |      |
|-----|----------------------|------|------|------|
|     | 本市                   | 本県   | 全国   |      |
| 小学校 | ①4時間以上               | 1.5  | 1.5  | 2.7  |
|     | ②3時間以上、4時間未満         | 1.5  | 1.7  | 2.3  |
|     | ③2時間以上、3時間未満         | 2.5  | 2.8  | 3.7  |
|     | ④1時間以上、2時間未満         | 5.3  | 5.7  | 6.4  |
|     | ⑤30分以上、1時間未満         | 10.9 | 10.0 | 10.4 |
|     | ⑥30分未満               | 31.0 | 27.0 | 28.2 |
|     | ⑦携帯電話やスマートフォンを持っていない | 47.2 | 51.1 | 46.3 |
| 中学校 | ①4時間以上               | 6.8  | 5.8  | 11.0 |
|     | ②3時間以上、4時間未満         | 6.5  | 5.9  | 8.8  |
|     | ③2時間以上、3時間未満         | 10.8 | 10.7 | 12.9 |
|     | ④1時間以上、2時間未満         | 13.2 | 13.5 | 15.0 |
|     | ⑤30分以上、1時間未満         | 12.9 | 12.6 | 13.0 |
|     | ⑥30分未満               | 15.2 | 14.0 | 15.5 |
|     | ⑦携帯電話やスマートフォンを持っていない | 34.1 | 36.8 | 23.5 |

中学校で1時間以上使っている生徒の割合が、全国に比べ、約10%低い。また、携帯電話・スマートフォンを持たない生徒は全国、県よりも少なく、小学校では、全国とほぼ同じ程度である。

5 読書は好きですか。

|     | 平成26年度           |      |      | 平成25年度 |      |      |      |
|-----|------------------|------|------|--------|------|------|------|
|     | 本市               | 本県   | 全国   | 本市     | 本県   | 全国   |      |
| 小学校 | ①当てはまる           | 53.2 | 52.9 | 48.9   | 51.8 | 51.6 | 47.9 |
|     | ②どちらかといえば当てはまる   | 24.0 | 24.5 | 24.1   | 24.5 | 24.6 | 24.3 |
|     | ③どちらかといえば当てはまらない | 13.9 | 13.8 | 15.9   | 13.8 | 14.1 | 16.2 |
|     | ④当てはまらない         | 8.7  | 8.6  | 11.0   | 9.7  | 9.5  | 11.5 |
| 中学校 | ①当てはまる           | 47.1 | 47.8 | 45.9   | 47.3 | 47.7 | 46.4 |
|     | ②どちらかといえば当てはまる   | 24.7 | 24.6 | 23.5   | 24.1 | 24.3 | 23.8 |
|     | ③どちらかといえば当てはまらない | 16.8 | 16.2 | 16.8   | 17.1 | 17.0 | 16.5 |
|     | ④当てはまらない         | 11.0 | 11.2 | 13.6   | 11.2 | 10.8 | 12.9 |

本市、本県の児童生徒は、全国と比較すると、読書が好きな生徒の割合が高い。

6 本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館にどれくらい行きますか(教科書や参考書、漫画や雑誌除く)。

|     | 平成26年度            |      |      | 平成25年度 |      |      |      |
|-----|-------------------|------|------|--------|------|------|------|
|     | 本市                | 本県   | 全国   | 本市     | 本県   | 全国   |      |
| 小学校 | ①週4回以上            | 11.6 | 11.1 | 3.5    | 11.3 | 11.6 | 3.7  |
|     | ②週1～3回程度          | 31.1 | 30.4 | 15.2   | 33.7 | 34.2 | 16.8 |
|     | ③月1～3回程度          | 18.4 | 19.0 | 24.2   | 20.0 | 19.9 | 24.4 |
|     | ④年数回程度            | 18.2 | 18.3 | 27.8   | 15.4 | 15.1 | 25.3 |
|     | ⑤年数回、または、ほとんど行かない | 20.4 | 20.9 | 29.2   | 19.2 | 18.9 | 29.4 |
| 中学校 | ①週4回以上            | 4.5  | 3.9  | 2.2    | 4.6  | 4.2  | 2.4  |
|     | ②週1～3回程度          | 11.9 | 13.2 | 16.7   | 13.3 | 14.5 | 6.8  |
|     | ③月1～3回程度          | 14.3 | 16.7 | 10.9   | 15.7 | 17.8 | 11.3 |
|     | ④年数回程度            | 19.8 | 21.0 | 22.8   | 20.5 | 21.3 | 21.2 |
|     | ⑤年数回、または、ほとんど行かない | 49.4 | 45.0 | 58.2   | 45.7 | 42.1 | 58.0 |

本市、県の小学校は、全国と比べ、図書室等を頻繁に利用する児童の割合が高い。中学校は、県に比べ、ほとんど行かない生徒の割合が高い。

7 (26年度)これまでに受けた授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか。(25年度)普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。

|     | 平成26年度           |      |      | 平成25年度 |      |      |      |
|-----|------------------|------|------|--------|------|------|------|
|     | 本市               | 本県   | 全国   | 本市     | 本県   | 全国   |      |
| 小学校 | ①当てはまる           | 50.5 | 49.7 | 47.3   | 38.0 | 41.4 | 37.6 |
|     | ②どちらかといえば当てはまる   | 36.6 | 36.5 | 37.6   | 41.5 | 39.7 | 41.7 |
|     | ③どちらかといえば当てはまらない | 11.2 | 11.6 | 12.5   | 17.0 | 15.4 | 17.0 |
|     | ④当てはまらない         | 1.5  | 2.0  | 2.4    | 3.3  | 3.4  | 3.6  |
| 中学校 | ①当てはまる           | 31.8 | 33.0 | 31.3   | 21.6 | 21.7 | 21.7 |
|     | ②どちらかといえば当てはまる   | 45.0 | 45.0 | 44.0   | 43.1 | 44.1 | 43.0 |
|     | ③どちらかといえば当てはまらない | 18.6 | 18.2 | 19.9   | 28.2 | 27.4 | 27.4 |
|     | ④当てはまらない         | 4.3  | 3.6  | 4.6    | 6.9  | 6.7  | 7.7  |

本市、県、全国とも、授業で話し合い活動が行われていると答えた児童生徒の割合は同程度である。

8 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか。

|     | 平成26年度           |      |      | 平成25年度 |      |      |      |
|-----|------------------|------|------|--------|------|------|------|
|     | 本市               | 本県   | 全国   | 本市     | 本県   | 全国   |      |
| 小学校 | ①当てはまる           | 24.3 | 27.2 | 24.4   | 27.0 | 29.2 | 25.9 |
|     | ②どちらかといえば当てはまる   | 34.5 | 34.1 | 33.2   | 34.0 | 34.0 | 33.4 |
|     | ③どちらかといえば当てはまらない | 26.1 | 24.6 | 26.3   | 24.4 | 22.7 | 25.0 |
|     | ④当てはまらない         | 15.0 | 14.0 | 16.0   | 14.1 | 13.7 | 15.2 |
| 中学校 | ①当てはまる           | 33.7 | 36.4 | 33.3   | 33.7 | 36.4 | 34.5 |
|     | ②どちらかといえば当てはまる   | 34.2 | 34.2 | 33.9   | 34.1 | 33.7 | 33.4 |
|     | ③どちらかといえば当てはまらない | 21.8 | 20.0 | 22.1   | 21.5 | 19.9 | 20.9 |
|     | ④当てはまらない         | 10.0 | 9.3  | 10.6   | 10.0 | 9.4  | 10.6 |

全国とほぼ同程度の割合で、難しいと感じている児童生徒が存在する。



【学校質問紙調査結果〈抜粋〉】

1 児童生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていますか。

|     | 平成26年度           |      |      | 平成25年度 |      |      |      |
|-----|------------------|------|------|--------|------|------|------|
|     | 本市               | 本県   | 全国   | 本市     | 本県   | 全国   |      |
| 小学校 | ①そのとおりだと思う       | 28.2 | 33.0 | 36.5   | 37.2 | 38.2 | 36.8 |
|     | ②どちらかといえば、そう思う   | 69.2 | 57.7 | 53.2   | 55.1 | 53.9 | 53.6 |
|     | ③どちらかといえば、そう思わない | 1.3  | 8.4  | 9.7    | 7.7  | 7.7  | 8.9  |
|     | ④そう思わない          | 1.3  | 1.0  | 0.6    | 0.0  | 0.2  | 0.7  |
| 中学校 | ①そのとおりだと思う       | 33.3 | 47.1 | 46.2   | 28.2 | 45.2 | 46.5 |
|     | ②どちらかといえば、そう思う   | 59.0 | 47.1 | 45.9   | 69.2 | 51.7 | 46.4 |
|     | ③どちらかといえば、そう思わない | 7.7  | 5.3  | 7.4    | 2.6  | 3.0  | 6.5  |
|     | ④そう思わない          | 0.0  | 0.4  | 0.4    | 0.0  | 0.0  | 0.5  |

小学校では、全国、県と比較すると、私語が少なく落ち着いている学校の割合が高い。しかし、中学校においては、「①そのとおりだと思う」の割合が、全国、県と比較して特に低い。

2 該当の児童生徒に対して、前年度までに、授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を生徒に示す活動を計画的に取り入れられましたか。

|     | 平成26年度           |      |      | 平成25年度 |      |      |      |
|-----|------------------|------|------|--------|------|------|------|
|     | 本市               | 本県   | 全国   | 本市     | 本県   | 全国   |      |
| 小学校 | ①そのとおりだと思う       | 80.8 | 81.0 | 64.4   | 87.2 | 84.0 | 60.4 |
|     | ②どちらかといえば、そう思う   | 17.9 | 17.8 | 32.5   | 11.5 | 14.9 | 36.1 |
|     | ③どちらかといえば、そう思わない | 0.0  | 0.6  | 2.9    | 0.0  | 0.8  | 3.4  |
|     | ④そう思わない          | 1.3  | 0.6  | 0.1    | 0.0  | 0.2  | 0.0  |
| 中学校 | ①そのとおりだと思う       | 59.0 | 68.0 | 49.0   | 56.4 | 65.2 | 43.7 |
|     | ②どちらかといえば、そう思う   | 35.9 | 31.1 | 45.0   | 43.6 | 33.9 | 48.9 |
|     | ③どちらかといえば、そう思わない | 5.1  | 0.9  | 5.9    | 0.0  | 0.9  | 7.1  |
|     | ④そう思わない          | 0.0  | 0.0  | 0.1    | 0.0  | 0.0  | 0.2  |

本市、県は、全国と比較すると、授業冒頭での目標提示を計画的に取り入れている。

3 該当の児童生徒に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れられましたか。

|     | 平成26年度           |      |      | 平成25年度 |      |      |      |
|-----|------------------|------|------|--------|------|------|------|
|     | 本市               | 本県   | 全国   | 本市     | 本県   | 全国   |      |
| 小学校 | ①そのとおりだと思う       | 64.1 | 59.2 | 42.3   | 70.5 | 66.2 | 41.1 |
|     | ②どちらかといえば、そう思う   | 32.1 | 38.1 | 49.3   | 29.5 | 31.1 | 50.9 |
|     | ③どちらかといえば、そう思わない | 2.6  | 2.1  | 8.1    | 0.0  | 2.5  | 7.8  |
|     | ④そう思わない          | 1.3  | 0.6  | 0.1    | 0.0  | 0.2  | 0.1  |
| 中学校 | ①そのとおりだと思う       | 33.3 | 33.8 | 28.6   | 35.9 | 41.7 | 26.4 |
|     | ②どちらかといえば、そう思う   | 64.1 | 62.7 | 60.6   | 59.0 | 53.9 | 61.7 |
|     | ③どちらかといえば、そう思わない | 2.6  | 3.6  | 10.5   | 2.6  | 3.9  | 11.6 |
|     | ④そう思わない          | 0.0  | 0.0  | 0.1    | 0.0  | 0.0  | 0.2  |

本市は、全国、県と比較すると、振り返り活動を計画的に取り入れている。

4 前年度までに、児童生徒に対して、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか。

|     | 平成26年度        |      |      | 平成25年度 |      |      |      |
|-----|---------------|------|------|--------|------|------|------|
|     | 本市            | 本県   | 全国   | 本市     | 本県   | 全国   |      |
| 小学校 | ①よく行った        | 33.3 | 34.7 | 38.0   | 39.7 | 34.7 | 39.0 |
|     | ②どちらかといえば、行った | 56.4 | 54.6 | 53.0   | 56.4 | 57.5 | 52.3 |
|     | ③あまり行っていない    | 9.0  | 9.8  | 8.8    | 3.8  | 7.7  | 8.4  |
|     | ④全く行っていない     | 1.3  | 1.0  | 0.2    | 0.0  | 0.0  | 0.1  |
| 中学校 | ①よく行った        | 15.4 | 19.6 | 26.6   | 23.1 | 22.2 | 25.8 |
|     | ②どちらかといえば、行った | 53.8 | 59.6 | 56.1   | 64.1 | 60.4 | 55.6 |
|     | ③あまり行っていない    | 30.8 | 20.4 | 16.9   | 12.8 | 17.4 | 18.3 |
|     | ④全く行っていない     | 0.0  | 0.4  | 0.3    | 0.0  | 0.0  | 0.2  |

小中学校ともに、25年と比べ、学級全員で取り組んだり挑戦したりするテーマをよく与えた割合が低下した。特に中学校で顕著である。

5 前年度までに、生徒が自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか。

|     | 平成26年度        |      |      | 平成25年度 |      |      |      |
|-----|---------------|------|------|--------|------|------|------|
|     | 本市            | 本県   | 全国   | 本市     | 本県   | 全国   |      |
| 小学校 | ①よく行った        | 23.1 | 26.6 | 26.2   | 29.5 | 27.0 | 27.8 |
|     | ②どちらかといえば、行った | 69.2 | 64.0 | 64.4   | 62.8 | 62.5 | 63.1 |
|     | ③あまり行っていない    | 6.4  | 8.8  | 9.2    | 7.7  | 10.2 | 9.0  |
|     | ④全く行っていない     | 1.3  | 0.6  | 0.1    | 0.0  | 0.2  | 0.0  |
| 中学校 | ①よく行った        | 12.8 | 15.6 | 19.9   | 17.9 | 13.5 | 20.5 |
|     | ②どちらかといえば、行った | 64.1 | 64.0 | 66.6   | 66.7 | 70.4 | 65.4 |
|     | ③あまり行っていない    | 23.1 | 20.4 | 13.3   | 15.4 | 15.7 | 13.9 |
|     | ④全く行っていない     | 0.0  | 0.0  | 0.1    | 0.0  | 0.4  | 0.1  |

小中学校ともに、25年と比較して、考えを書かせる指導をよく行った割合が低下した。全国と比べても低い。

6 該当の児童生徒に対して、前年度までに、学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか。

|     | 平成26年度           |      |      | 平成25年度 |      |      |      |
|-----|------------------|------|------|--------|------|------|------|
|     | 本市               | 本県   | 全国   | 本市     | 本県   | 全国   |      |
| 小学校 | ①そのとおりだと思う       | 32.1 | 38.1 | 49.1   | 43.6 | 39.4 | 48.4 |
|     | ②どちらかといえば、そう思う   | 64.1 | 53.1 | 46.3   | 53.8 | 52.3 | 46.9 |
|     | ③どちらかといえば、そう思わない | 2.6  | 8.4  | 4.3    | 2.6  | 8.1  | 4.5  |
|     | ④そう思わない          | 1.3  | 0.4  | 0.1    | 0.0  | 0.2  | 0.1  |
| 中学校 | ①そのとおりだと思う       | 7.7  | 18.2 | 31.8   | 17.9 | 16.5 | 30.2 |
|     | ②どちらかといえば、そう思う   | 71.8 | 58.7 | 56.4   | 59.0 | 65.7 | 57.4 |
|     | ③どちらかといえば、そう思わない | 20.5 | 22.7 | 11.5   | 23.1 | 17.8 | 12.2 |
|     | ④そう思わない          | 0.0  | 0.4  | 0.2    | 0.0  | 0.0  | 0.2  |

本市中学校は、全国と比較して、話し合いを十分に意識した授業の割合が特に低い。

7 教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか。

|     | 平成26年度           |      |      | 平成25年度 |      |      |      |
|-----|------------------|------|------|--------|------|------|------|
|     | 本市               | 本県   | 全国   | 本市     | 本県   | 全国   |      |
| 小学校 | ①そのとおりだと思う       | 25.6 | 25.3 | 34.4   | 24.4 | 22.6 | 31.9 |
|     | ②どちらかといえば、そう思う   | 70.5 | 70.5 | 61.1   | 67.9 | 71.4 | 62.9 |
|     | ③どちらかといえば、そう思わない | 3.8  | 4.0  | 4.4    | 7.7  | 6.0  | 5.0  |
|     | ④そう思わない          | 0.0  | 0.0  | 0.0    | 0.0  | 0.0  | 0.0  |
| 中学校 | ①そのとおりだと思う       | 12.8 | 19.6 | 23.8   | 12.8 | 13.0 | 21.8 |
|     | ②どちらかといえば、そう思う   | 66.7 | 67.1 | 67.0   | 66.7 | 74.8 | 67.6 |
|     | ③どちらかといえば、そう思わない | 20.5 | 13.3 | 9.1    | 20.5 | 12.2 | 10.5 |
|     | ④そう思わない          | 0.0  | 0.0  | 0.0    | 0.0  | 0.0  | 0.0  |

本市中学校は、全国と比較して、参加した研修の成果を積極的に反映させているという割合が特に低い。

8 学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか。

|     | 平成26年度           |      |      | 平成25年度 |      |      |      |
|-----|------------------|------|------|--------|------|------|------|
|     | 本市               | 本県   | 全国   | 本市     | 本県   | 全国   |      |
| 小学校 | ①そのとおりだと思う       | 50.0 | 55.0 | 56.9   | 57.7 | 57.1 | 57.9 |
|     | ②どちらかといえば、そう思う   | 48.7 | 43.9 | 41.3   | 42.3 | 42.3 | 40.0 |
|     | ③どちらかといえば、そう思わない | 1.3  | 1.1  | 1.8    | 0.0  | 0.4  | 1.9  |
|     | ④そう思わない          | 0.0  | 0.0  | 0.0    | 0.0  | 0.0  | 0.0  |
| 中学校 | ①そのとおりだと思う       | 25.6 | 40.9 | 48.3   | 41.0 | 44.3 | 49.8 |
|     | ②どちらかといえば、そう思う   | 66.7 | 56.4 | 48.9   | 53.8 | 54.3 | 47.3 |
|     | ③どちらかといえば、そう思わない | 7.7  | 2.7  | 2.7    | 5.1  | 1.3  | 2.7  |
|     | ④そう思わない          | 0.0  | 0.0  | 0.0    | 0.0  | 0.0  | 0.0  |

本市中学校は、全国、県と比較して、学校の学力傾向や課題を十分に共有できている割合が特に低い。

#### 【考察】

- ① 本市の児童は、全国に比べ、将来の夢や希望をもったり、自分のよさに気付いたりしている割合が高い。一方、生徒について、その割合が低くなっている。今後も、学校の様々な活動の中で賞賛の場を設定するなど、自尊感情を高める取組を進める必要がある。
- ② 本市の児童生徒は、全国に比べ、授業以外での勉強時間は多いが、平均正答率は、さほど高くない。今後、家庭学習との連携を図った授業づくりや、児童生徒が調べたり文章を書いたりする宿題を与えることなどが必要がある。
- ③ 授業の中で、話し合いや自分の考えを説明したり、文章に表したりする学習活動を大幅に増やす必要がある。また、小・中連携部会等での検討を通じて、小学校で身に付けた学び方を中学校に確実に接続させる必要がある。
- ④ 授業中の児童生徒の様子については、小学校は、私語が少なく落ち着いている学校が多い。中学校においては、「そう思わない」は少ないものの、「そのとおりだと思う」の割合は、全国、県と比べるとかなり低い。聞く態度などの基本的な生活習慣を家庭と連携を図りながら十分指導する必要がある。
- ⑤ 本市は、教師による授業の目標やまとめはしっかり示されているが、平均正答率の向上に結び付いていない。今後の教材研究において、児童生徒の追究に値する「めあて」と「まとめ」の在り方を見直す必要がある。
- ⑥ 一人一人の教師が、様々な研修会等に参加しているが、その成果を学校の研修に反映する必要がある。そのために、職員会議等の運営や週時程等を見直すなど、情報の共有を効率的に行う方法を検討する必要がある。